

目標達成計画

作成日：平成30年3月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	いかに利用者を安全に避難させるかが重要な課題。特に夜間想定避難訓練を職員同士で度々行い利用者を素早く避難させるスキルを身に付ける。	年2回の消防訓練の他に2か月に一度程度、利用者の現状に合わせた夜間想定避難訓練を実施する。	4月1日から5月31日の間に夜勤を行う職員全員が参加できるよう2～3回に分けて夜間想定避難訓練を実施する。	2ヶ月
2	33	入所時及び入所後に重度化した場合や終末期について家族と具体的に話し合っているが、具体的な終末期や看取りの指針を作成するまでには至っていない。	看取りについて医療との連携のあり方や職員の関わり方等についての研修を進めるとともに、職員の意思統一を図り、家族との協力や理解を含めながら事業所としての具体的な終末期や看取りの方針を決める。	現状の人員配置(看護職員)をもとに、施設長、管理者、担当ケアマネージャー、介護主任で具体的な指針を作成する。	3ヶ月
3	4	今年度は運営推進会議への利用者や利用者家族の参加が少なかった。	利用者、利用者家族への参加呼びかけをより積極的に行い、より活発な運営推進会議とする。	新年度より、利用者、利用者家族へ文書での発信と合わせ、口頭でも参加呼びかけを行い、毎回どのような話し合いが行われ、事業所運営に活かしているのかも合わせて説明し、参加いただけるよう促す。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。